



国際交流基金

<http://www.jpf.go.jp/>

PRESS RELEASE

August 12, 2008 No. 358

和平合意から3年、インドネシア・アチェ地方の子どもが紛争を振り返る ～アチェ子ども会議～

アチェではインドネシア政府軍とアチェ独立派「独立アチェ運動」による紛争が30年にわたり続いていましたが、2004年12月のスマトラ沖地震の甚大な被害を契機として和平への機運が高まり、2005年8月15日に和平合意が成立しました。

その和平合意からちょうど3年、被害児童が紛争経験を振り返ることができる心理状況になりつつある今、2008年8月16日～20日の5日間に渡り、紛争被害の経験を持つ中学生・高校生による「アチェ子ども会議」を実施します。

利害が対立してしまった各地域間の信頼を再び取り戻し、将来の紛争再発を防ぐために、未来を担う子ども達を平和の創始者にとという考えのもと、子どもの文化活動を支援し、それを通じた地域の活性化につなげる取り組みです。

期 間 : 2008年8月16日(土)～20日(水)

実施地 : タケンゴン(ナングロ・アチェ・ダルサラーム州 中アチェ県)

主催 : コミュニタス・ティカール・パンダン、国際交流基金

参加者 : 前回ワークショップ参加者を主とした中学生・高校生 25名

詳細 : <http://www.jpf.go.jp/j/intel/new/0808/08-01.html>

* 国際交流基金(ジャパンファウンデーション)では芸術による元紛争地の復興支援事業として、2007年4月に「アチェの子どもたちと創る演劇ワークショップ」を、日本の演劇専門家、アチェの芸術家やNGOと協力して実施しました。本事業はそのフォローアップ事業として実施するものです。

* 「アチェ子ども会議」にファシリテーター(進行役)として参加する日本人専門家・花崎攝氏(武蔵野美術大学、日本大学講師)による帰国報告会を9月17日(水)18:00-20:00に国際交流基金(東京都新宿区)にて開催予定です。詳細については後日改めてご案内致します。

貴紙・誌にてお取り上げくださいますようお願いいたします。

お問い合わせ : 日本研究・知的交流部 アジア・大洋州課 麦谷
電話 : 03-5369-6070

「地球を、開けよう。」

情報センター
〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-4-1
Tel:03-5369-6075 Fax:03-5369-6044